

戸田

S.ピンクリボン・乳がん検診啓発 ラリーアクション

乳がん検診の啓発を目的に、戸田市で戸田中央総合病院や地域交流センターあいばるなど4カ所を巡るピンクリボン・スタンプラリー(同市主催)が開催され、親子連れなどの市民約千人が参加した。

あいばるの会場では、ステージで「t odaピンクリボン*アローハ」の女性たちが華やかにハワイアンフラダンスを披露。代表で乳がんサバイバー(乳がん体験者)、戸田市在住の咲乃けこさんは「あなたや大切な人の笑顔を守るために、年に1回、乳がん検診を受けましょう」と訴えた。

咲乃さんは「落ち込んでいた時に、これじゃダメだと思った。

内視鏡検査機器のコーナーで小学生が操作体験した=戸田中央総合病院

セットしてフラダンスを始め、元気になれた。自分で悩みを打ち明けられる場所を作りたい」と話した。

戸田中央総合病院の市民公

開講座では、乳がんや大腸がんの専門医による公開講座も。毛呂山町出身の俳優、ダンカンさん(58)が、3年前に妻を乳がんで失った悲しみを

語った。同病院1階フロアでは、オリンパス光学工業、富士フイルムが協力し、内視鏡装置を展示。医師が訓練に使う装置で、モニター画面を見ながら模型の胃袋内を観察したり、ポリープを除去したりする手術を子どもたちが体験した。戸田南小3年生の若狭政知君(7)は、姉で伊奈学園総合高校1年生の文子さん(16)と内視鏡操作にチャレンジ。政知君は「うまくできたと思う。将来は医者になりたい」と自信を輝かせた。同病院の専門スタッフからは「とても上手だ」と2人に拍手を送っていた。



家族の笑顔のために